

未来のまちづくりを共に考える

# 大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL

秋号(第18号) 2023年9月発行



NARA PREFECTURE

奈良県

巻頭インタビュー

奈良文化財研究所所長 本中 眞さん

世界遺産登録25周年の節目に  
平城宮跡について考える



奈良文化財研究所所長 本中 眞さん

## 世界遺産登録25周年の節目に、平城宮跡について考える

奈良文化財研究所所長

もとなか まこと  
**本中 眞**さん

令和5年、世界遺産「古都奈良の文化財」は登録25周年を迎えました。この節目の年に、長年、世界遺産登録事務に携わり、景観保存や遺跡・史跡整備に従事してきた奈良文化財研究所所長の<sup>もとなか</sup>本中<sup>まこと</sup>眞さんに、改めて、世界遺産としての平城宮跡の重要性について伺いました。

### 歴史から見る大宮通り

大宮通りは、元の平城京の道路でいうと、三条大路と二条大路のちょうど中間の<sup>さんじょうじょうかんじ</sup>三条条間路にあたります。奈良時代の主要な官庁街や高級住宅街と言っても差し支えない場所であり、私達は、今、当時の非常に主要な道路をそのまま現在の道路として使っています。

### なぜ、平城宮跡が世界遺産の構成資産に入ったのか？

古都奈良の文化財は、全体で8つの構成資産から成り立っています。そのほとんどは、奈良時代に起源を持つ寺院と神社の建築です。これらは、地上に残っている建物が世界遺産になりました。それに対して、地下の遺構にスポットを当てたのが平城宮跡です。

平城宮跡は、地下に埋もれている当時の様々な宮殿建築の配置形式や建物の構造などが全てよく残っており、奈良時代の寺院建築を建てる上で非常に重要なソースといえます。このことから、建物と一体の建築遺産であるという観点で世界遺産の構成要素に

なりました。

### 平城宮跡の価値を 守り伝えるために

訪れた時に、「なぜここが世界遺産に入っているのか？」が伝わるような手法があるべきだと思っています。古都奈良の文化財に関しては、まだそこまで議論が達していません。今、議論しているのは、令和8年(2026)の世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の方です。「飛鳥・藤原」で、どのようなインテグレーションの手法があるのか、県、市、村との話し合いが上手くいけば、古都奈良の文化財でも同じような合意形成ができるのではと思います。

25年以上前、南北を通過する京奈和自動車道が平城宮跡の地下を通る計画があり、議論が盛んにおこなわれました。平城宮跡には、木簡がたくさん埋まっています。いかに大深度地下であっても、地下水脈が変化し、木簡が影響を受けたり、失われたりする可能性があったのです。世界遺産になる前でしたが、平城宮跡は、国民的な





第一次大極殿

正面約44m、側面約20m、地面より高さ約27m。直径70cmの朱色の柱44本、屋根瓦約9万7000枚を使った平城宮最大の宮殿。奈良時代当時、天皇の即位式など国のもっとも重要な儀式のために使われた。

運動で、特別史跡としての保存を実現してきた経緯がある場所です。そのような人々の思いから、地下を通す計画はやめていただきたく伝えてきました。

## 変わりゆく 平城宮跡の風景の中で

平城宮跡では、大極殿、朱雀門、東院庭園などの復原をおこなっています。実は、国内外の専門家から賛否両論あります。大極殿復原の後、ユネスコの評価諮問機関「イコモス」から、根拠のない、想像に近い部分が多く含まれている復原建築物については認められないという勧告が出たのです。推定復原をしなければならなかった部分がありますが、薬師寺や唐招提寺など、色々なところに奈良時代の建築が残っているの、地下遺構を守りながら、建物の一番基礎の部分の意匠や構造をしっかりと踏まえて、どこまで信頼性高く上物を建てられるのか調査研究を積み重ねてきました。その成果に基づいて、どこから先が推定なのか、どこから先が他の類例遺構から借りてきたものなのか、境目をはっきりさせた上で復原することは問題ないだろうという結論になったのです。

いくら当時の復原だと言っても、現代の建築です。当然ルーツとし

ては、奈良時代の様々な遺構から考えられる歴史的な文脈があるわけですが、私達にとって、この復原建築物が今後どのような役割を果たしていくのか、そして、移り変わる風景の中で今生きている私たちがこの土地に立って、どう感じるのかが、私は極めて大事だと思っています。

平城京天平祭のようなたくさんの人々が平城宮跡を訪れる機会があるのも非常に大切だと思います。天平行列などといった非日常の光景が宮跡の中に突然現れますが、全く関係のないものではなく、ある一定の文脈や繋がりを保持しているのです。今まで訪れる機会が無かった人も来てくれて、平城宮跡を違う目で見てくれる瞬間があると気づきました。

## 周辺地域の住民の皆さまとの繋がりが

かつて、平城宮跡の発掘調査を手伝ってくれたのは、宮跡の中の土地を持つていた周辺住民の方々でした。地域の人々との関係が変化してきた今こそ、もっと繋がりを大切にしていかなければと思っ

平城京天平祭・春



ています。

地域の方々の中には、色々な記録を持っている方もいらっしゃいます。最近も大極殿の上に立っていた標木が保存されていることが分かり、寄贈を受けました。そのような旧家がまだ残っており、記録を伝えてこられたのです。

8世紀の時代だけではなく、それ以降の平城宮跡とその周辺がどのように変わってきたのか、平城宮跡を人や自然との繋がりの中で捉え直していきたいというのが、私の今の実感です。

# 特集 世界遺産「古都奈良の文化財」

令和5年は、  
世界遺産登録25周年

「古都奈良の文化財」は、1998年に日本で9つ目の世界遺産となりました。今年、世界遺産一覧表に記載されて25年という節目の年になります。

さて、「古都奈良の文化財」は、どのような価値が認められて世界遺産になったのでしょうか。

## 世界遺産としての「古都奈良の文化財」の価値

世界遺産では、国家や民族・宗教といった枠組みを超えて、地球上の人類全体にとって、未

来に引き継ぐべき「顕著な普遍的価値」があることを証明する必要があります。

「古都奈良の文化財」は、奈良が日本の都であった710年から784年までの時代が、日本の文化的・政治的發展をもたらした極めて重要な時期であったことを鮮明に示すとともに、奈良の地において進化した建築や芸術等が、その後の日本文化の源泉となったことを示すことに「顕著な普遍的価値」があると評価されました。

そして、それを証明している場所として挙げられたのが、左の一覧の構成資産なのです。

### 構成資産

- 東大寺
- 興福寺
- 春日大社・春日山原始林
- 元興寺
- 薬師寺
- 唐招提寺
- 平城宮跡



東大寺

提供：東大寺



興福寺

提供：興福寺・一般財団法人奈良県ビジターズビューロー（撮影：矢野建彦）



春日大社

提供：春日大社



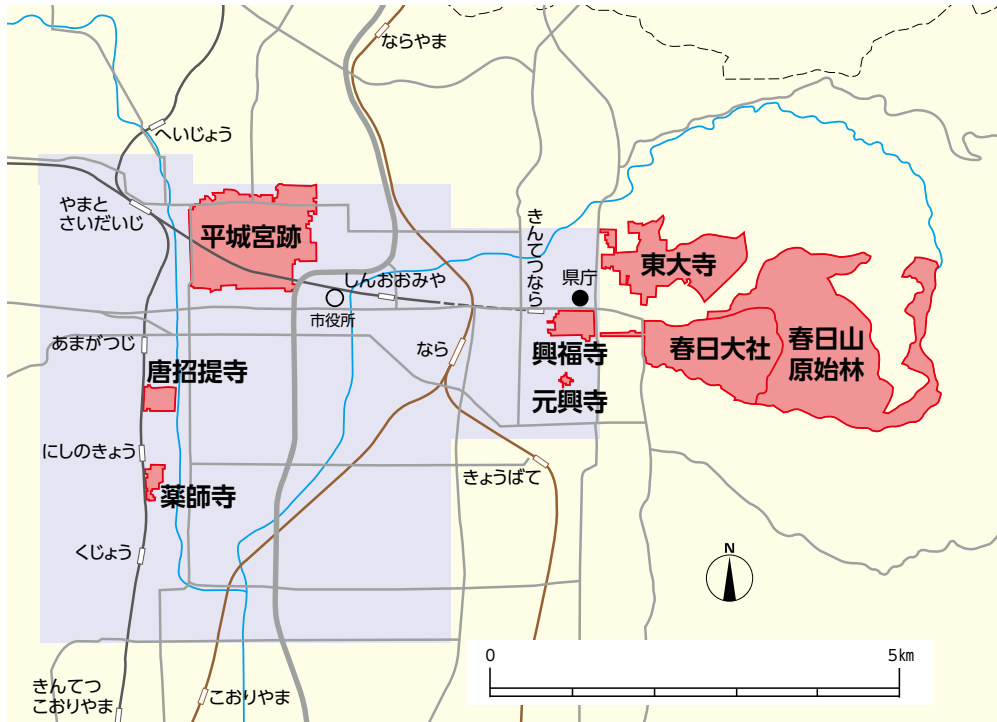
元興寺

提供：元興寺



薬師寺

提供：薬師寺・一般財団法人奈良県ビジターズビューロー



唐招提寺

提供：唐招提寺



平城宮跡

提供：文化庁





たかまどやま  
高円山からみた「古都奈良の文化財」

## 古代の息吹を伝える伽藍と建造物群

「古都奈良の文化財」には、5つの寺院と1つの神社が構成資産に含まれます。これらは全て奈良時代に創建されました。世界遺産には奈良時代に建立された10件を含む78件もの木造建造物が登録されています。

寺院の多くの建造物は、平安時代以降に再建されたものであり、春日大社の建造物は式年造替しきねんぞうかえという制度によって建て替えられたりしていますが、その伽藍配置や建物の構成は、創建当初の姿が非常に良く残されています。

## 奈良の都の中枢であった平城宮跡

奈良の文化が花開いた8世紀、日本の首都であった平城京の中枢は、平城宮でした。その遺跡である平城宮跡は、「古都奈良の文化財」で唯一、考古学的遺跡ですが、構成資産となっています。長年の発掘調査によって明らかになった宮殿の建物の配置は、8世紀のアジアの都城の顕著な事例

として高く評価されています。

## 信仰と一体として守られた自然景観

自然の山や森を神格化しようとした日本独特の文化をよく現した景観が、春日山原始林です。現在は特別天然記念物として、その自然環境の保全を図っていますが、近代以前は神域として森が保護されてきたという背景があり、春日大社と一体的に、世界遺産として価値が評価されています。



春日山原始林

## 現代に継承された信仰と宗教儀礼

「古都奈良の文化財」の価値で最も特徴的なことが、構成資産となった寺院において、現代もなお宗教儀礼や行事が文化として継承されていることです。

寺社で行われている様々な宗教儀礼や行事の多くは、季節の風物詩として奈良の人びとの生活や精神のなかに息づいています。

## 「古都奈良の文化財」を次世代へ

世界遺産の目的は、世界遺産に登録されることではありません。世界遺産に登録された時から、姿かたちを損なうことなく次世代に伝えるための努力を続けるという重い責任を世界に約束することに、その本質的意義があります。

そのためには、多くの皆さまが奈良県にある3件の世界遺産を訪れ、その魅力に触れて、多くの人びとと、その価値を共有してほしいと願っています。

【世界遺産室】



# 「奈良のシカ」と人との共生は 奈良にしかない風景です

## 天然記念物「奈良のシカ」

奈良のシンボルのひとつである「奈良のシカ」は、1300年以上前から奈良公園に棲息する野生動物です。野生のシカと人の生活が溶け込み共存してきた歴史が評価され、国の天然記念物に指定されています。

## 奈良公園のシカの生態

オスジカは秋になると、角が大きく堅く成長します。奈良公園では、伝統的に角きりを行い、オスジカ同士や人間がケガをするのを防いでいます。角を切っている

も、交尾期のオスジカは気が荒くなっているため、人身体事が多発している時期です。不用意に近づかないようにしてください。



妊娠したメスジカは、春になると鹿苑に保護され出産します。子育て中のメスジカは子鹿を守るため、神経質になっています。子鹿には、近づいたり、触ったりしないようにしてください。毎年6月には鹿苑で子鹿公開を行っています。かわいい子鹿の姿をぜひご覧ください。

## 鹿せんべいについて

鹿せんべいの売り上げの一部は、奈良のシカの保護活動に充てられています。シカに鹿せんべい以外のパンやお菓子など人間の食べ物を与えると、シカが病気になってしまうことがあります。また、シカに野菜くずなどを与えると、味を覚えてしまいます。奈良公園周辺でシカが田畑を荒らすなどの農業被害も起きています。鹿せんべい以外は絶対に与えないでください。



昨年、鹿苑と春日大社に、24時間購入できる鹿せんべいの自動販売機を設置しました。鹿せんべい販売員がいない時間でも購入できますので、ぜひお試しください。

## シカと人とが共生していくための取組

奈良県では、平成25年12月に、

「100年後も、奈良の鹿が今と変わらず奈良公園に元気で暮らしていること」を目標として、検討委員会を設置し、専門家の意見を聞きながら、奈良のシカ保護のための施策を行っています。

これまでに注意看板やチラシの作成、サイネージ等で注意喚起の動画などの啓発を行ってきました。

100年後も奈良のシカと人とが共生していくために皆さまのご協力をお願いします。

【奈良公園室】





# イベント盛りだくさんの奈良公園 バスターミナルへぜひお越しください

## 奈良公園バスターミナル でのイベント開催について

奈良公園バスターミナルでは、県内外のお客様に楽しんでいただける定例イベントとして「バスタdeマルシェ」を毎月第三日曜に開催しています。

10月は、県内最大級の食の祭典である「奈良フードフェスティバル シェフェスタ」を10月7日(土)～15日(日)に奈良公園で開催します。期間中の土、日、祝日には、奈良公園バスターミナルでも開催し、一体として盛り上げます。



バスタdeマルシェ

## レクチャーホール

バスターミナル2階のレクチャーホールでは、奈良の魅力を感じていただけるイベントとして、「奈良の魅力発信映像上映会」やトークショー「大人のならばと見聞録」を定期開催しています。



奈良の魅力発信映像上映会



秋の音楽祭

また、10月28日、11月11日、18日には、秋の音楽祭として、アーティストの方々による

演奏会を開催します。

## 屋上でのイベント

バスターミナル屋上では、10月28日から11月5日にかけて「万葉花絵巻オータムウィーク」を開催します。

菊をはじめとした色とりどりの万葉植物をぜひお楽しみください。  
【奈良公園室】



万葉花絵巻オータムウィーク

◆バスタdeマルシェ  
開催日：令和5年10月15日(日)、11月19日(日)

開催場所：奈良公園バスターミナル 東棟1階

◆奈良の魅力発信映像上映会  
開催日：令和5年10月8日(日)、11月12日(日)

開催場所：奈良公園バスターミナル 2階レクチャーホール

要申込、有料

◆大人のならばと見聞録

開催日：令和5年10月19日(木)  
開催場所：奈良公園バスターミナル 2階レクチャーホール

◆秋の音楽祭

開催日：令和5年10月28日(土)、11月11日(土)、11月18日(土)  
開催場所：奈良公園バスターミナル 2階レクチャーホール

◆「時をかける少女」上映会&ワークショップ

開催日：令和5年11月3日(金祝)  
開催場所：奈良公園バスターミナル 2階レクチャーホール

◆万葉花絵巻オータムウィーク

開催期間：令和5年10月28日(土)～11月5日(日)  
開催場所：奈良公園バスターミナル 屋上

奈良公園バスターミナル で検索

# 「ムジークフェストなら

## 2023「秋」開催

「屋外で気軽に」「音楽と食」をコンセプトに秋の音楽イベントを開催

「音楽で、奈良を元気に」との思いから、2012年からスタートした「ムジークフェストなら」11回目を迎えた今年は、これまでの『春』に加え、四季を通じた開催となりました。

「ムジークフェストなら2023「秋」」では、9月1日(金)～11月30日(木)の開催期間中、県内各地で様々なイベントが開催されます。10月21日(土)、22日(日)の2日間は、奈良国立博物館西側広場で「プロースト！ムジーク」を開催します。開放的な野外会場で、音楽を



聞きながら、ドイツビールや奈良のクラフトビール、奈良県産食材を使ったフードや沖縄料理などを楽しむことができます。他にも、あすか風舞台(明日香村)

にて、奈良

県内の吹

奏楽団が

ゲストと

一緒に演

奏を披露

する「あお

ぞら吹奏

楽」、社寺等

でのコンサ

ートなど

の企画もご

用意してい



ムジークフェストなら 2023

# 奈良の秋を彩る「奈良県みんな

でたのしむ大芸術祭」開催中

県内各地で楽しいイベン

トが盛りだくさん

9月1日(金)～11月30日(木)の期間、「奈良県みんなでたのしむ大芸術祭」(通称「みんな芸」)を開催します。

「みんな芸フェス」と「平城京天平祭・秋」が初コラボ!

みんな芸のメインイベントである「みんな芸フェスティバル」。今年は、「みつぎうまし祭り」平城京天平祭「秋」と同時開催します。

10月21日には、話題の2人組ユニット「Claris(クラリス)」

をはじめ、様々なアーティストが登場し、障がいのある人もない人も楽しめるステージを彩ります(ステージ前特別観覧席のみ要事前申込)。

10月22日は、公募で選ばれた団体によるステージが繰り広げられます。昨年好評だった「みんな芸ピアニ」も設置し、誰でも自由に演奏することができます。

「ビッグ幡」で、思いのこもったアート作品も堪能



全国の障がいのある方から募集した作品を「幡」に仕立てて社寺に掲揚する「ビッグ幡」。東大寺大仏殿に加え、東塔の落慶法要を記念し、薬師寺でも掲揚します。その他にも楽しいイベントが盛りだくさん。ぜひお気に入りを見つけてお越しください!

【文化振興課】

開催期間：令和5年9月1日(金)

～11月30日(木)

開催場所：県内各地

問合せ先：奈良県みんなでたのしむ大芸術祭実行委員会事務局  
☎0742-2718488

みんな芸 で検索

入場無料(一部有料)



奈良県みんなでたのしむ 大芸術祭



# みつぎうまし祭り〜平城京天平祭・秋〜

## 平城京天平祭・秋 開催

令和5年10月21日(土)、22日(日)の2日間、平城宮跡・朱雀門ひろばにて「みつぎうまし祭り」平城京天平祭・秋を開催します。



古代行事の再現の様子

## 秋の実りに感謝する みつぎうまし祭り

「みつぎうまし祭り」とは、奈良の酒と食を味わい、古代行事の再現や歌舞音曲を楽しむ秋祭りです。「みつぎ」とは、祭りのために収穫した食、音楽などを献上するという古代の言葉。「うまし」には、「美しい」「おいしい」の意味が込められています。



酒の宴



書道体験



漢方をテーマにしたワークショップ

今年、かつて平城宮で行われていた「新嘗祭」をモチーフとした再現行事や、毎年大人気の「衛士隊の再現」、秋の実りに感じる飲食ブース、歌舞音曲を楽しむステージ、天平衣装体験など、魅力的なコンテンツが盛りだくさんです。



天平衣装体験

今年さらには、みんな芸フェスティバルと同時開催！  
魅力あふれる秋の平城宮跡にぜひお越しください。

【平城宮跡事業推進室】

開催日：令和5年10月21日(土)・22日(日)

開催時間：10時〜16時

開催場所：平城宮跡 朱雀門ひろば  
問合せ先：平城京天平祭実行委員会事務局

☎0742-2510707

天平祭  
で検索

入場無料(飲食・体験は有料)



## 衛士隊の再現

大人気！「衛士隊の再現」を毎週開催！

「衛士隊の再現」は、平城京天平祭・秋において毎年実施されている大人気コンテンツ。今年も特別に、10月7日(土)から22日(日)までの毎週土日に実施いたします。開門・閉門の儀や巡回警護等、かつての平城宮を守っていた衛士隊の姿をぜひご覧ください。

【平城宮跡事業推進室】



入場無料

開催期間：令和5年10月7日(土)～22日(日)の毎週土日  
 開催時間：未定  
 開催場所：平城宮跡 朱雀門ひろば  
 問合せ先：平城京天平祭実行委員会事務局  
 ☎0742-2510707

## みんなで・守り道事業

参加団体を募集します

みんなで・守り道事業は、地域住民などで構成された団体による道路維持管理活動を支援しています。道路を通じた地域貢献に参加していただける団体を募集します。地域の道路を地域の皆さまできれいにしませんか。

### 募集内容

- ① 保全プログラム  
道路敷の草刈り
- ② 美化プログラム  
道路敷の清掃及び植栽
- ③ サポータープログラム  
店舗等に面する道路の清掃

### 支援内容

- 共通：傷害・賠償保険の加入
- ① 保全プログラム  
報奨金の支給
  - ② 美化プログラム  
軍手、ゴミ袋など物品の支給
  - ③ サポータープログラム  
感謝状の贈呈
- 詳しくは下記ホームページを

ご覧ください。

【道路マネジメント課】



問合せ先：奈良県道路マネジメント課  
 ☎0742-2717499  
 守り道で検索  
<https://www.pref.nara.jp/30803.htm>



# ごあいさつ

秋涼の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は大宮通りにおけるプロジェクトの推進に多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度皆さまにご愛読いただきました「大宮通りジャーナル」は、本号第18号をもちまして終了とさせていただきます。

「大宮通りジャーナル」は、観光振興と地域づくりのモデルとして各種プロジェクトが進行している「大宮通り」について、沿道の住民の皆さまや商業者等の関係者様と、ともに考え、意見を交換し、課題を共有するためのプラットフォームとして、平成26年度より、毎年発行・配布してまいりました。

長きにわたり、ご支援、ご愛読いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

なお、今後、大宮通り周辺事業に関する情報等は、奈良県のホームページ等、より皆さまが活用しやすい媒体での発信を検討してまいりたいと考えております。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

ご愛読ありがとうございました。



## 大宮通りジャーナルマップ



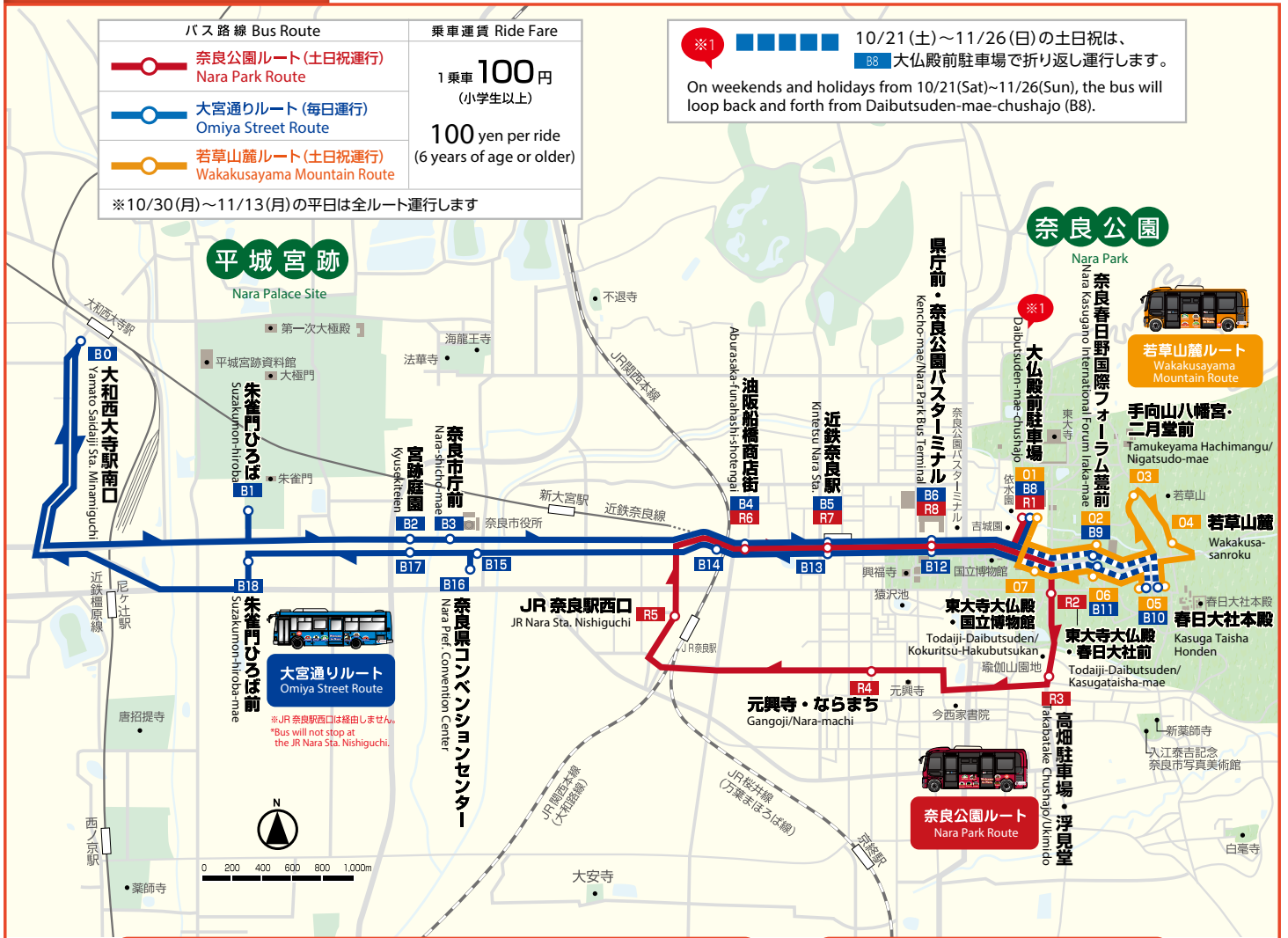
イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
ムジークフェストなら2023~秋~	9月1日(金)~11月30日(木)	県内各地	ムジークフェストなら実行委員会事務局 ☎050-3146-3982	入場無料 (一部有料)
奈良県みんなでのたのしみ大芸術祭(みんな芸)	9月1日(金)~11月30日(木)	県内各地	奈良県みんなでのたのしみ大芸術祭実行委員会事務局 ☎0742-27-8488	入場無料 (一部有料)
衛士隊の再現	10月7日(土)~22日(日) の毎週土日	平城宮跡朱雀門ひろば	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	入場無料
みつきうまし祭り ~平城京天平祭・秋~	10月21日(土)・22日(日)	平城宮跡朱雀門ひろば	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	入場無料 (一部有料)

●掲載されているイベントなどの内容は本ジャーナル発行時点のものです。

「ぐるっとバス」ルートマップ

・2023年9月時点の情報です。

・イベント等で運休する場合がありますので、詳しい運行日は、〈HP「奈良公園・平城宮跡」アクセスナビ〉をご確認ください。



※「ぐるっとバス」の詳しい運行情報やルートについては、〈HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」〉をご覧ください。  
<http://www.nara-access-navi.com/>

〈ぐるっとバスNAVI〉  
ぐるっとバスの位置情報がリアルタイムで確認できる

大宮通りジャーナル 秋号(第18号) 2023年9月発行

発行 奈良県	●各事業に関するお問い合わせ		
編集 県土マネジメント部地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室	Tel.0742-27-8973	世界遺産室 Tel.0742-27-2054
平城宮跡事業推進室	奈良公園室	Tel.0742-27-8028	文化振興課 Tel.0742-27-8488
	道路マネジメント課	Tel.0742-27-7499	

観光振興と地域づくりのモデルとして各種プロジェクトが進行している「大宮通り」について、沿道の住民の皆さまや商業者等の関係者様と、課題をともに考え、意見を交換し、共有するためのプラットフォームとして本誌を発行・配布しています。